

デジカメ入門1

CCD

24×36mm フルサイズ

19×29mm Hサイズ

15×23 APS-Cサイズ

コンパクト・カメラ 5×7mm

フォーサーズ 17.3×13mm

マイクロ・フォーサーズ さらに小さくなる

記録メディア

SDカード (SDHCメモリーカード)

コンパクトフラッシュ

露出補正 (クロマイ・シロップ)

(1) クロマイ・シロップ

黒い部分 マイナス補正をする

カメラは黒い部分を暗いと考え、白く補正をするため「マイナス補正」が必要となる

白い部分 プラス補正をする

カメラは白い部分を明るいと考え、暗く補正をするため「プラス補正」が必要となる

(2) AEBブラケット (同時に「+0 -」3枚の撮影をする)

花の撮影 AEBブラケットを使用すること。

黄色い花 プラス補正

フォームウェア... PCで対応のこと

デジカメ入門2

1.ブレない写真を撮る

シャッター速度が100以下の場合にはブレる

ISOの速度を変える 1/300以上にするとOK

絞りを11、22にするとブレる 開放(小さい数字)にする

カメラの持ち方、シャッターの押し方でブレる

三脚を使用すること

2.設定はRAWの下にすること 2048×36mm、画質 1.6MG

3.一眼レフの機能(特徴)

レンズ交換ができる 18~250mmが有れば大体OK

マニュアル操作ができる (例)花火撮影

露出補正ができる

・インスタント補正 カメラが自動的に行う

・手動補正

・AEB(オートブラケット)

フィルター使用ができる

・色フィルター...デジタルカメラの場合は修正ができるので不要

・CPLフィルター(偏光フィルター) 空と雲、水面の反射、ショーウインドーの写りこみのカット等ができる

・NDフィルター(シャッタースピードを遅くしたい場合) (例)昼の滝を撮る時
ホワイトバランスで調整ができる

4.実践編

(1)動いている被写体を止まっているように撮るには、シャッタースピードを

1/2000以上にしないと止まらない

(2)流し撮り (例)新幹線...1/200

自転車・マラソン...1/30~1/60(この場合は被写体に合わせてカメラも一緒に移動しながら(動きながら)撮ること)

(3)滝を撮る 1/2秒~3秒位(三脚は必ず使用のこと)

(4)花火を撮る(三脚は必ず使用のこと)

ISO感度は一番小さい番号(数字)に ボタンを「M」に シャッタースピードを「バルブ」に
絞り値(8~11) ピントを「無限大」に シャッターは押したままに(押している時間は感
と経験で)

(5)花の撮影

・バックが暗いところを撮ると花が引き立つ

・前ボケの仕方 MFを使う 後ろにピントを合わせる

(6)曇り空の場合は、空の部分を写真の中に入れていないようにすると良い

(7)部分的な青空の色を出したい時は、MF撮影で空の部分をファインダーで見てから撮ってみる

(8)レンズ・フード 太陽光を防ぐ場合、余分な光をさえぎる時に使用するが、無ければなくとも問題なし...作者の想い(狙い&好み)で使用すれば良い

デジカメ入門3

1. 写真の整理

< 保存方法 >

DVDに保存するのがベスト！

- ・記録メディア 静電気に弱い
- ・CD 経年劣化しやすい

データは、必ず別に保存すること！

- ・バックアップは、最低2ヶ所以上に保存しておくこと

(例) 外付けハードディスク、DVD、ミラーリング(RAID機能)

ミラーリング(RAID機能)...2ヶ所以上に一発で保存できる

写真の整理には、ソフト(例:PhotoshopEL5.0)を利用すると便利

< 名札を付ける(PhotoshopEL5.0を使った場合) >

整理 名札 新規 新規カテゴリ 名前を付ける 新規名札 名前欄に入力

2. フォトレタッチの基礎

< クイック補正で出来ること >

スマート補正

赤目補正

レベル補正...色のトーンカーブを補正できる

コントラスト補正...明暗部分をシャープにできる(ボケ写真に効果あり)

カラー補正...基本的に機械(パソコン)任せが良い(自動のボタンを押す)

シャープ補正

シャドーを明るくとは...アンダーの写真を明るくする場合のこと

ハイライトを暗くとは...ハイの写真を暗くする場合のこと

画面の角度を水平にする場合...スタンダード編集画面から「角度補正ツール」を使う